

尾道分教会会長 岡本宗介先生講話の概要

- 少年ひのきしん隊のスローガン「人のためつくすよろこびつたえよう」
人のたすかりを願うよろこび。
- なぜお賽銭をするのか？ スーパーのポイントと同じように考えたらいいのではないか。
親神様が毎日元気に連れて通ってくださっている。徳というポイントをためる。
徳は神にご恩報じさせてもらってためるもの。①お賽銭②ひのきしん③困っている人を助ける。
(おたすけ) 徳というポイントをためる日常をすごすように、自分で徳を積んで乗り越えていくよう、親は子どもに教えよう。ご恩報じの日々を送ろう。
- 親神様は、互い立て合い助け合ってすごす姿を見たいので人間をつくってくださった。
- お筆先は、世界中の人間を助けたいといった思いが詰まった書物(原典)。
- 相手を立てる、相手を尊重するといった丸い心で繋がっていれば世界の争いごとも起こらない。「互い立て合い助け合い」を邪魔するものは、めいめいの癖性分である。そのもとは八つのほこりである。我さえよければ、すぐ切れてしまう風潮。すわり勤めの「あしきをはろうて」というのは、人間がほこりを積むことを想定して、ほこりを積んだ心を払いなさいということ。(お手振りも) あしきを払わないと、一列すましたかんろうだいの世界はできないといった意味である。八つのほこりを煎じ詰めると、「わが身かわいい」という粒になる。